

はじめに

近年、AI（人工知能）の進化は目ざましく、社会が大きく変わろうとするなかで、日本国内の人口は年々減りつづけ、働き手の高齢化も進み、仕事にはより効率化・省力化が求められるようになりました。

今では、これまで人が行ってきた仕事の一部をAIやロボットが担うようになり、劇的に進化するIT（情報技術）があらゆる場所で活用されるようになり、仕事の「スマート化」が行われています。近い将来、多くの仕事がスマート化されることで、みなさんが「将来になりたい」と思っていた職業が、大人になるころにはなくなっているかもしれません。

そこで、これから必要になるのが、夢やアイデアを持ってみずから事業を起こし、仕事をつくっていくという「起業家精神」です。

今ある職業のなかから、将来自分が働く姿を思い描くことも大切ですが、これからの社会で必要になるような「新しい仕事」を自分で生み出すことも、大切な選択肢となるでしょう。そのための手段となるのが「起業」です。

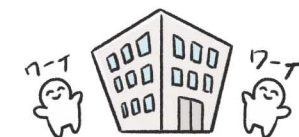
この本では、売上やコスト、人材の採用など、実際に起業をしたあと、どのように経営をすればよいか、具体的なことを学んでいくことで、「起業」をより身近に感じることができるようになっています。

みなさんがこの本を通じて、「起業」に関心を持つきっかけになれば幸いです。

もくじ

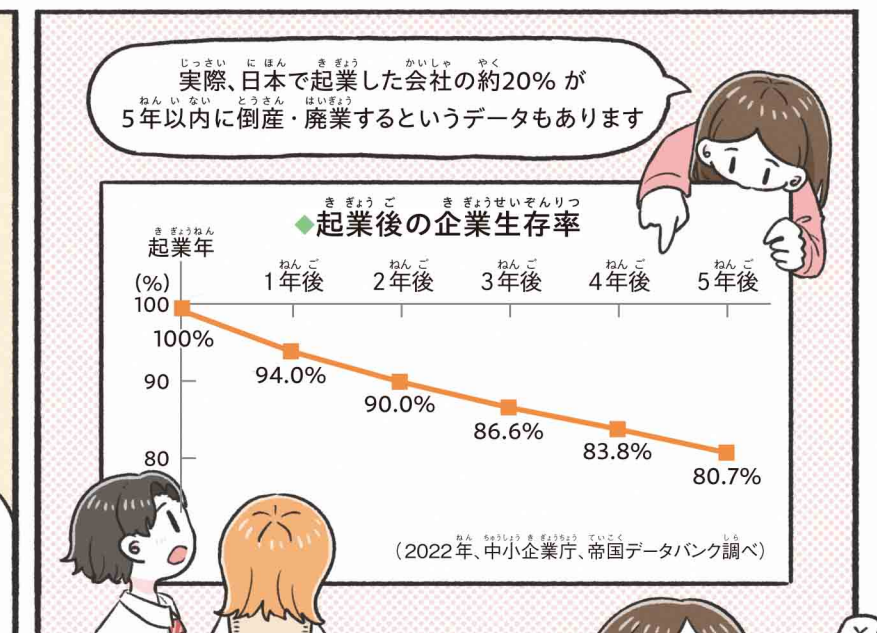
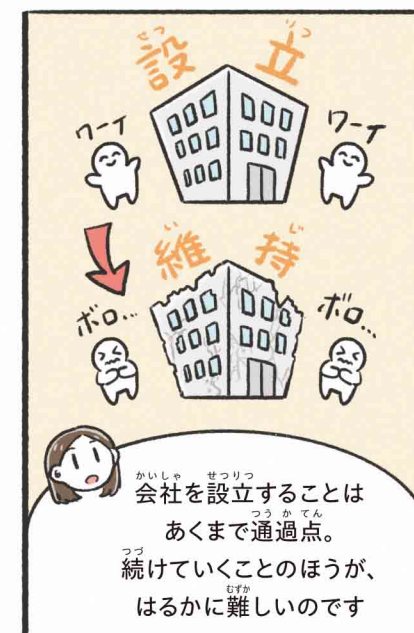
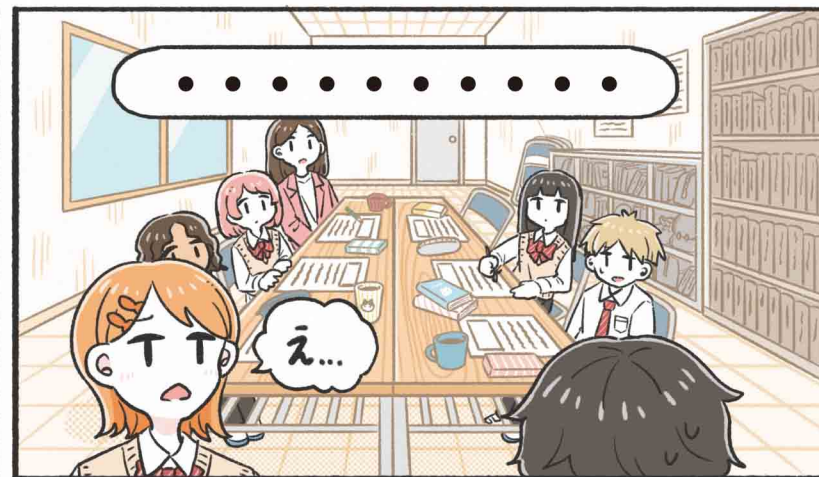
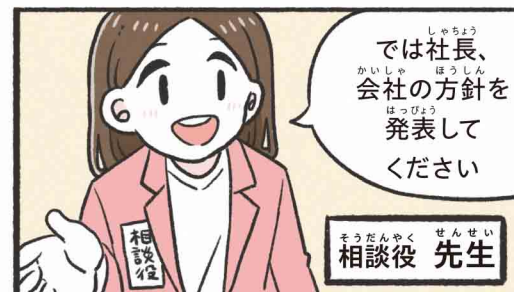
起業でつくるジブンの仕事

3 会社経営ってどうやるの？



はじめに	
会社はつくるよりも続けるほうが難しい	4
会社にとって大事な「利益」	6
利益を上げるにはどうすればいいの？	8
コストの種類	10
税金について考えておこう	12
私の起業失敗談① 株式会社 e-lamp. CEO 山本 愛優美さん	14
会社のなかの組織を見てみよう	16
会社設立後に必要なこと	18
経営について学んでおこう	20
仕事上のトラブルに注意	21
人材を集めよう	22
働きやすい環境をつくろう	24
いろいろな働き方を知ろう	26
人件費はどのくらいかかる？	28
労働者に関する法律を知っておこう	30
私の起業失敗談② 株式会社 FabU 代表取締役 佐々木 誠さん	32
起業から今までをふり返ろう	34
事業の今後を考えよう	36
やっぱり起業したい！	38
さくいん	39

会社はつくるよりも 続けるほうが難しい



会社にとって大事な「利益」

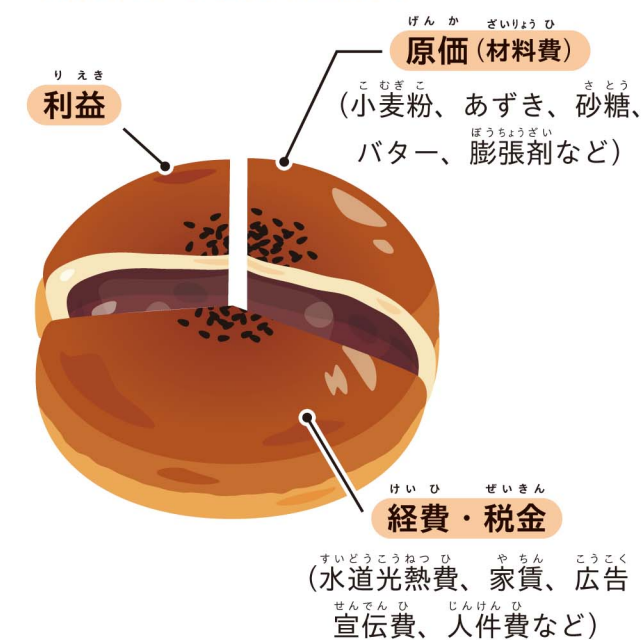
利益 = 売上 - コスト

会社を続けていくためには、会社を維持していけるだけの「利益」が必要です。利益とは、ビジネスで得たお金（売上）からコストを引いた、純粋な「もうけ」のことです。

たとえば、パン屋さんであれば、1日に売れたパンの代金の合計が1日の売上です。ただし、パンをつくるには、小麦粉やバターなどの材料費、お店の家賃、パンを焼くためのガス代や電気代、人を雇った場合に支払う給与などの経費、税金も必要になります。

このように、会社を運営していくために必要なお金を「コスト」といいます。

あんパン1個の利益は？



売上とコストの計算をしてみよう

では、ために巻頭と巻末のシートを使って、売上とコストの計算をしてみましょう。(ここでは原価のみのコストを計算します。)



売上計算表の合計から
コスト計算表の
合計を引いた金額が、利益だよ。
実際には、もっと細かい計算が必要だけど、ここでは
かんたんな表にしたよ

月	店号・商号	商品・サービス	単価	数量	売上金額
		イヤリング	2,750	20	55,000
		ネックレスA	3,300	15	49,500
		ネックレスB	2,200	18	39,600
売れた商品と単価(1個のねだん)、数量(売れた数)を書き入れ、合計(単価×数量)を計算して書き入れましょう					
最後に売上金額の合計を書き入れましょう					
合計					144,100

★この本の最初にワークシートがあります。

コスト計算表

月

屋号・商号

商品・サービス	単価	数量	コスト金額
ビーズ	20	40	800
テグス	150	10	1,500
チャーム	600	10	6,000
コットンパール (30個入り)	600	8	4,800
接着剤	400	1	400
包装ケース	150	53	7,950

仕入れた商品と単価（1個のねだん）、数量（買った数）を書き入れ、コストの合計（単価×数量）を計算して書き入れましょう

最後にコストの金額の合計を書き入れましょう

合計

21,450

★この本の最後にワークシートがあります。

利益 = 売上 - コスト

材料費 税金 人件費
ガス・電気代 ……などなど



お店をはじめるときに必要な初期費用や、月つき支払う家賃や光熱費なども、1日当たり、パン1個当たりにかかるコストとして細かく割って計算するんだよ

1個150円のパンを売っても、150円がそのままうけになるわけじゃないんだね



非営利組織でも利益が必要？

NPO法人(特定非営利活動法人)などの非営利組織は、営利を求めないボランティアが基本と思われがちです。しかし、「非営利」とは、活動で得た利益や資産を構成員(株式会社でいうところの株主にあたる人)に分配しないという意味です。人件費

などの経費を引いた利益はすべて、組織の維持や活動のために使われます。NPO法人だけでなく、病院や学校、福祉施設なども非営利組織に分類されますが、活動を続けるための利益を得ることは認められています。